

防災士の連携が自主防災組織活性化のカギになる

日田市では、防災士の連携に力を入れ始めました。

これは、日田市防災アドバイザー連絡協議会が中心になって始めた活動です。

防災アドバイザー会は、自主防災組織の活動に濃淡を感じていました。そこで、先ず防災士同士が繋がり、地域の現状などを共有し、防災対策に生かせるようになることが必要だと考え、日田市と連携して防災士の親睦会を開催することにしました。

1回目は去る8月26日(水)に東有田地区公民館で行われました。17名の参加がありましたが防災士の活動ができていない現状を吐露する場面が殆どでした。議論の結果、防災士の地域での位置づけが理解できていないことが判明し、「防災士とは何か」という基本的な事から学びなおそうということになりました。最後に参加した防災士から、「この会合に参加したことで、改めて防災士であることが自覚できたので、今日から早速防災士教本を読み直します。」といった言葉が発せられたことが親睦会の有意義さを物語ります。

この日田市の現状は県下の市町村のほとんどが抱える課題です。

私たち自主防災組織活性化センターは、この取り組みが県内の自主防災組織活性化のモデルと捉え、今後も注目していきます。

尚、2回目は8月28日(金)に日隈公民館で開催され、その後、9月5日(土)開催予定だった夜明公民館は台風10号接近に伴い延期になりました。また同月16日(水)には市役所にて市内の女性防災士が一堂に会することになっています。

